

いろは呑龍新聞第 31 号～平成 30 年 7 月号～

いろは呑龍トンネル南幹線シールド工事の漏水対策に係る技術検討委員会

昨年 11 月 27 日に、いろは呑龍トンネル南幹線シールド工事で発生したトンネル内部への漏水及び土砂流入事故につきましては、発生原因と対策工法を検討し、有識者の意見を聴くため、「いろは呑龍トンネル南幹線シールド工事の漏水対策に係る技術検討委員会」（以下、技術検討委員会）を設置しました。

平成 30 年 7 月 9 日に第 3 回技術検討委員会を開催し、有識者である委員の方々から、復旧工事により施工した構造物の安全性について、問題ないとの意見をいただきました。

<委員>

(敬称略)

委員長	大西 有三	京都大学名誉教授
委員	三村 衛	京都大学大学院工学研究科教授
委員	渡邊 一弘	国土交通省国土技術政策総合研究所道路構造物研究部道路基盤研究室長
委員	矢野 知宏	地方共同法人日本下水道事業団近畿・中国総合事務所長

<中間報告について>

<http://www.pref.kyoto.jp/shingikai/mizukantai-03/kekka180709.html> で公開しております。

<今後の予定>

今後は、道路舗装復旧工事に着手するとともに、道路変状等の経過観測を一定期間実施することとしています。



写真：技術検討委員会の開催状況